

パパ・ママ子育て知恵袋

第52回は「糸」

「オッパピ〜」で有名な芸人の小島よしおさんが、小学生の相談にのるという記事をネットで読みました。これが、とてもよかった。

小学生の女の子のお悩みです。「最近お友達が自分を避けているような気がして辛い」というものです。

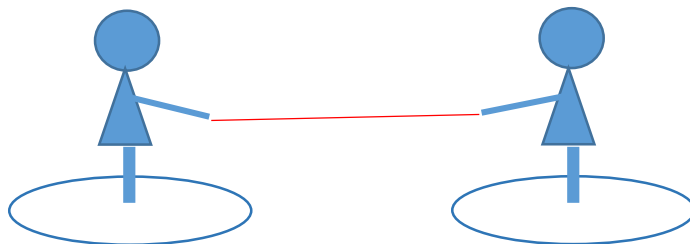
<https://dot.asahi.com/info/2021100800087.html>

お子さんが同じようなお悩みを抱えていらしたら、是非読んで聞かせてあげてください。

教育研究所に勤めていたとき、カウンセラーさんから、こんなお話をいただきました。

「不登校の子供が、心の調子がよい日に登校します。先生は『よく来たね』とほめます。1時間授業を受けることができたとします。すると先生は『よくがんばった。この調子で2時間目も受けてみようよ』と言います。大人しい子ですと、黙って2時間目も受けて、先生の勢いに押されて、その日一日は学校にいられることがあります。でも、まず間違いなく、その子は翌日から、また学校には来られなくなります。

自分の足元を中心にして円を書いてください。その円が、その人の陣地です。人が誰かとつながるというのは、こういう状態です。（絵を描いてくれました）



二人が持っている糸は細いんです。先生は子供が登校してきたことが嬉しくて、糸をグイグイ引っ張ったことになります。強く引っ張られたから、子供は自分の陣地から出そうになって、慌てて体勢を崩しました。糸が切れたかも知れません。この糸はゆるくたるませておくとういのです。」

なるほど。大人同士の関係も一緒だな、と忘れられないお話になりました。